グリッド/インターロックタイプ

SR-IL Ⅱ

ユニット(ユニタイズド)化による安定した品質と高い精度。
部材同士の嵌合によるインターロック方式を採用した
大型標準ユニットカーテンウォール。

インターロック機構による ジョイント方式

カーテンウォールユニット間(縦方向・横方向とも)を、アルミ押し出し形材の連続したかみ合わせ断面と、オープンジョイント方式によりジョイントするインターロック方式を採用。工場生産方式により、安定した品質と高い精度が得られます。

ユニタイズド化による施工の省力化

ユニットの持つ利点をさらに押し進めたユニタイズド化(=ガラス、耐火ボード等の工場取り付け)を可能にしました。現場施工の省力化や簡素化に加え、工程や労務の平準化といった生産管理の合理化に貢献します。

等圧工法による高い水密性

水密シールに頼らないオープンジョイント方式。ユニット間を等圧工法により処理していますので、安定した高い水密性が得られます。

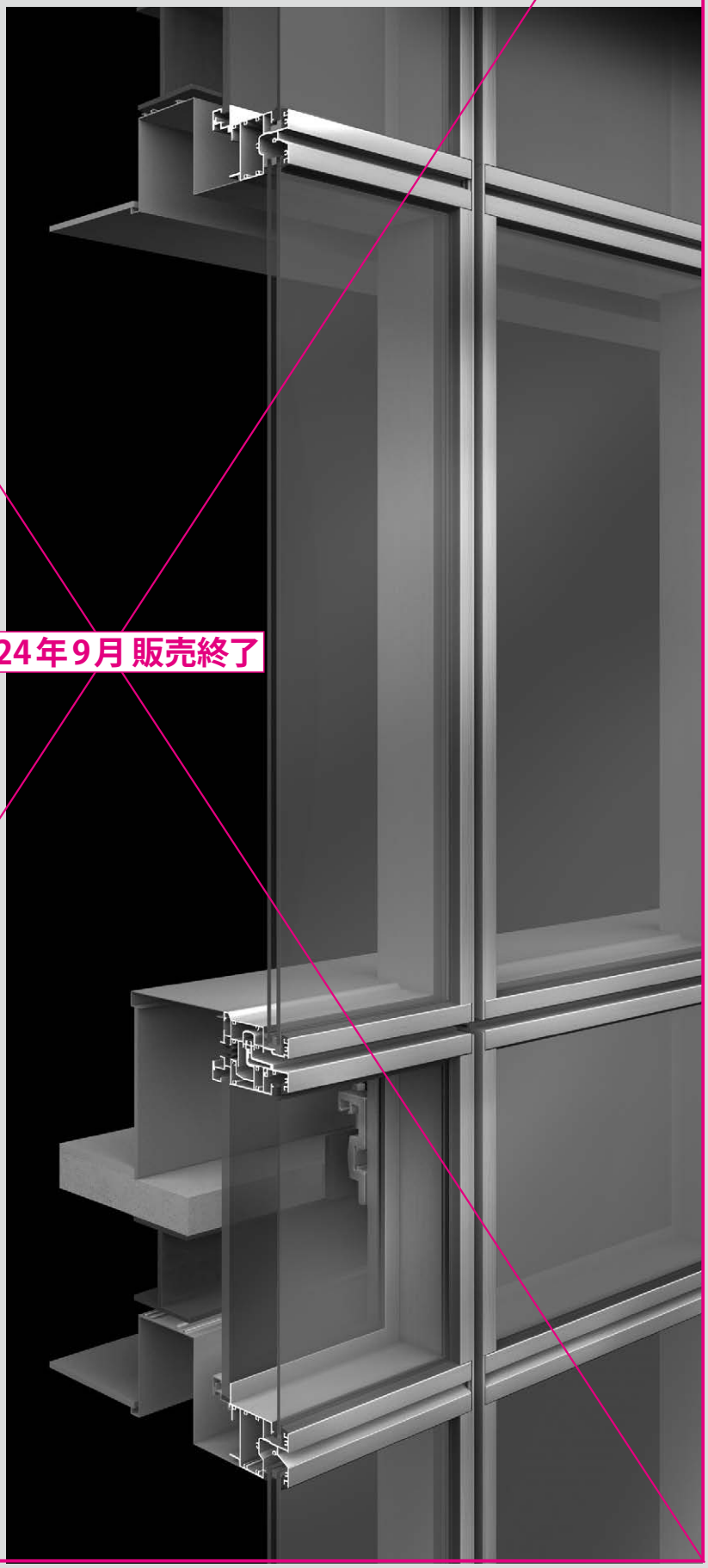
部材のスリム化

躯体とユニットの固定をゲルバー梁として設計していますので、建築意匠に合わせた部材のスリム化が可能です。

耐候性、耐震性への配慮

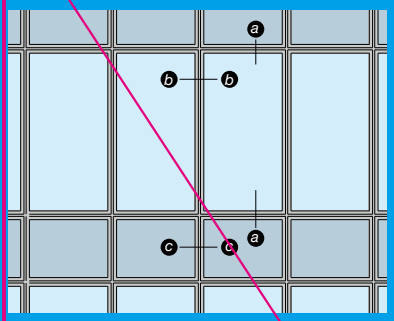
内外ガスケット方式の採用により、シールの破断や損傷による性能の低下の心配がなくなりました。乾式化も含め、メンテナンスの低減に配慮した機構です。

性能	
耐風圧性	2800Pa
気密性	0.5m³/h·m²
水密性	FIX部　1000Pa(中央値) (ガラス回り-内外ガスケット)
層間変位	1/300の層間変位に対しカーテンウォール構成材に何ら損傷のないこと。1/150の層間変位に対し破損・脱落がないこと。



2024年9月 販売終了

グリッド／インターロックタイプ
SR-IL Ⅱ
FIX窓

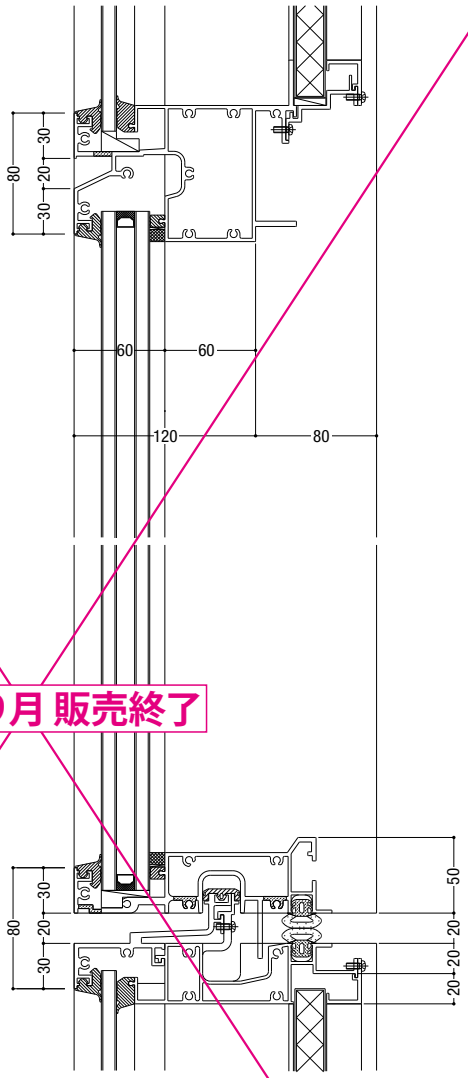


基本性能

耐風圧性	2800Pa （W・H寸法により強度が変わります）
気密性	0.5m³/h・m²
水密性	1000Pa（中央値）
層間変位	1/300の層間変位に対しカーテンウォール構成材に何ら損傷のないこと。1/100の層間変位に対し破損・脱落がないこと。

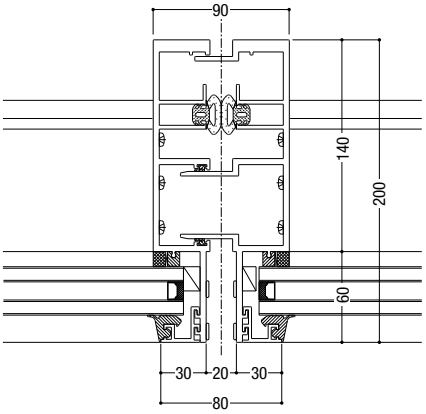
S ＝ 1/5

ⓐ—ⓐ

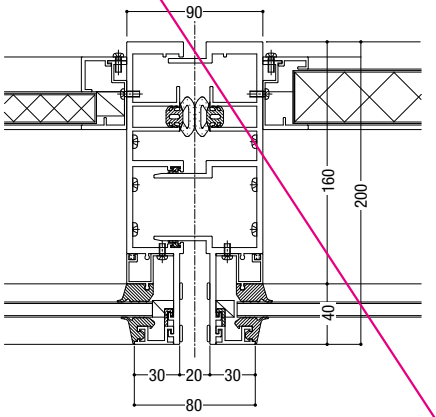


2024年9月 販売終了

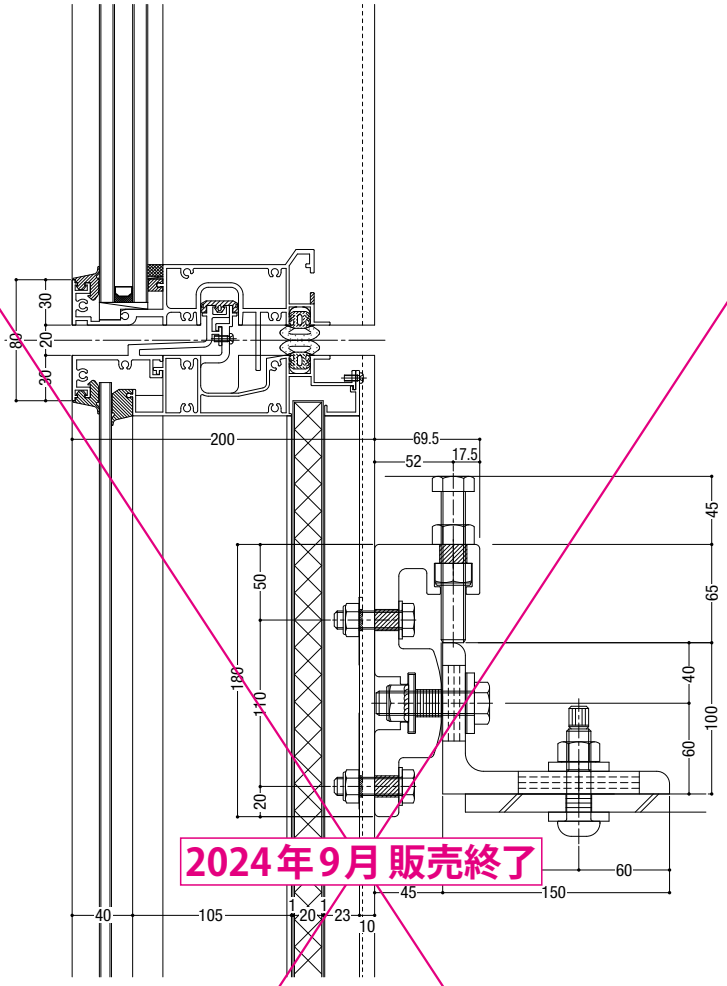
ⓑ—ⓑ 開口部



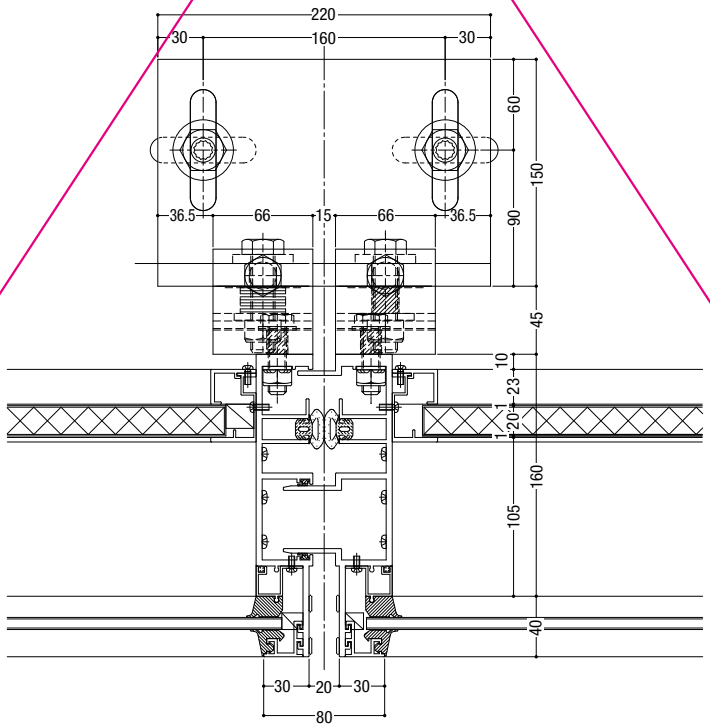
ⓒ—ⓒ 腰部



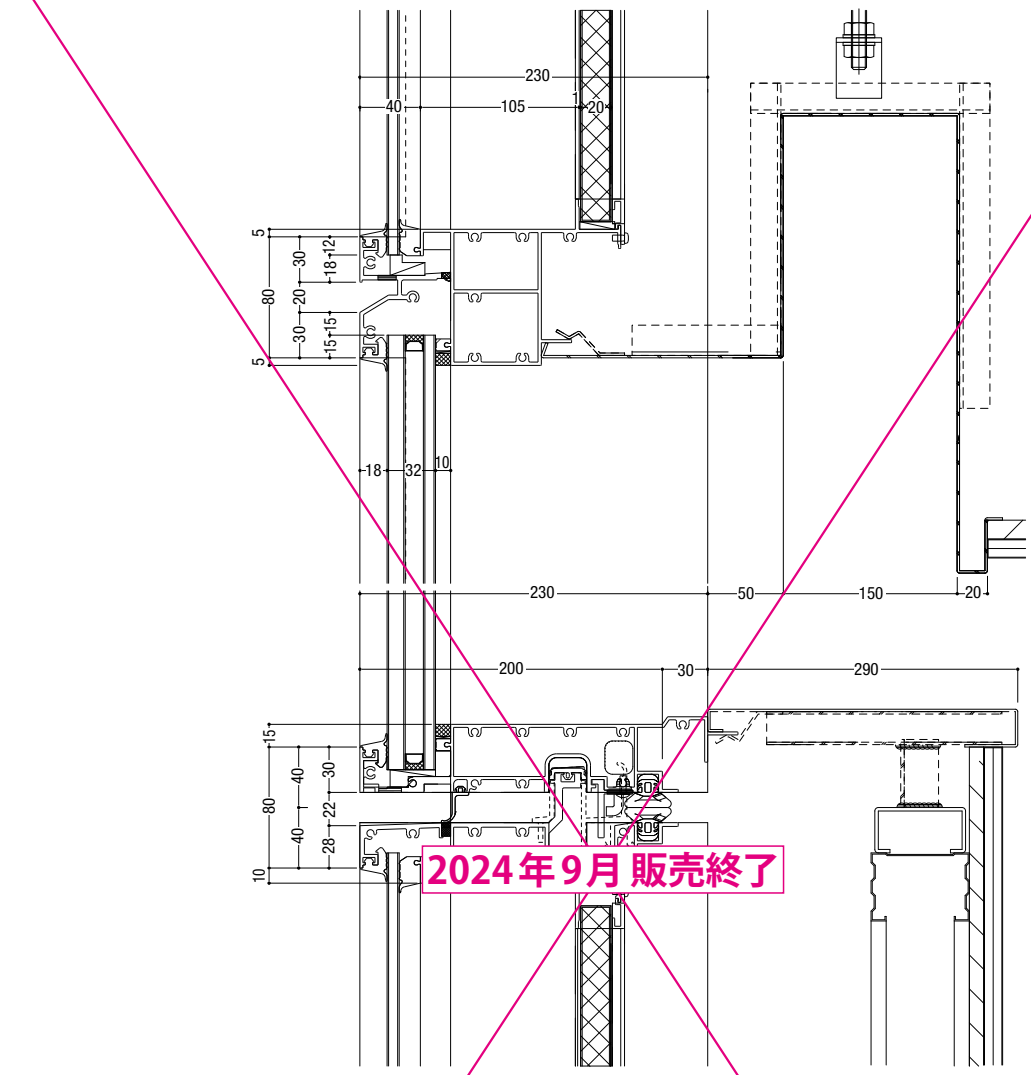
S = 1/5



2024年9月 販売終了



S = 1/5



2024年9月 販売終了

